

食品安全委員会評価技術企画ワーキンググループ (第13回) 議事録

1. 日時 平成31年4月19日(金) 10:00~12:35
2. 場所 食品安全委員会中会議室(赤坂パークビル22階)
3. 議事
 - (1) 2019年度食品安全委員会運営計画について
 - (2) 食品健康影響評価技術研究について
 - (3) 食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の更なる活用について
 - (4) その他
4. 出席者
 - (専門委員)
川村座長、赤堀専門委員、小坂専門委員、小関専門委員、西浦専門委員、
広瀬専門委員、山田専門委員
 - (専門参考人)
井上専門参考人、岡田専門参考人
 - (食品安全委員会)
佐藤委員長、川西委員、吉田委員
 - (事務局)
小平事務局次長、中山評価第一課長、池田評価情報分析官、
入江評価技術企画推進室長、窪崎課長補佐、青木評価専門官、
石神技術参与
5. 配布資料
 - 資料1 2019年度食品安全委員会運営計画
 - 資料2 食品健康影響評価技術研究「ベンチマークドース手法の健康影響評価における適用条件の検討」
 - 資料3 食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針(案)[動物試験で得られた用量反応データへの適用]
 - 参考資料 新たな時代に対応した評価技術の検討~BMD法の更なる活用に向けて~

6. 議事内容

○○○ それでは、定刻になりましたので、ただいまから第13回「評価技術企画ワーキンググループ」の会議を開催いたします。先生方には、お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。

机上に配布いたしました資料の一番上の議事次第をご覧ください。

本日は、7名の専門委員の先生方全員が御出席になる予定なのですが、まだ遅れられる方がいらっしゃるようです。また、専門参考人として、井上専門参考人、岡田専門参考人に御出席いただいております。食品安全委員会からは、3名の委員の先生に御出席いただいております。

議事に入る前に事務局より報告があるということですので、お願いいたします。

○事務局 事務局の人事異動について御報告します。

4月1日付で評価技術企画推進室長の橋が異動し、後任として入江が着任しております。

○入江評価技術企画推進室長 入江です。

10年ぐらい前に厚生労働省の基準審査課というところで食品安全を担当しておりました。さらにその数年前は、環境省で環境ホルモンの環境への影響という立場からやっておりました。そういう意味で、久しぶりにこの食品安全の分野で働けますことを楽しみにしております。

また、このワーキングでは非常に革新的な議論がなされるということで、今回の指針についての仕事も楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

○事務局 また、4月1日付で評価第二課長の吉岡が異動し、後任として箴島が着任しております。本日、他の専門調査会出席のため欠席しておりますが、御報告申し上げます。

事務局からの報告は以上でございます。

○○○ それでは、議事を進めます。

本日の議題は、「2019年度食品安全委員会運営計画について」、「食品健康影響評価技術研究について」及び「食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の更なる活用について」です。

開催通知等で御連絡いたしましたように、本日の会議は非公開で行いますので、よろしくお願いいたします。

事務局より資料確認をお願いいたします。

○事務局 お手元に、議事次第、座席表、専門委員名簿のほか、資料1「2019年度食品安全委員会運営計画」、資料2「食品健康影響評価研究『ベンチマークドーズ手法の健康影響における適用条件の検討』」、資料3「食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針(案)[動物試験で得られた用量反応データへの適用]」、ダブルクリップでとめられた、右肩に「机上配布資料1」、「机上配布資料2」と記載された頭紙のある資料、右肩に「机上配布参考」と記載された1枚紙の資料をお配りしております。

ホームページで公開しない資料がありますので、取り扱いには御留意ください。

このほか、参考資料として、昨年7月に取りまとめいただいたBMD法の報告書をお配りしています。

また、過去のワーキンググループでお配りした資料、海外機関等のガイダンス等について、ドッジファイルにとじて御用意しております。

さらに、海外機関等のガイダンスをはじめBMD法の報告書において参考とした文献、本日の配布資料等がお手元のiPadに保存されています。審議内容に応じて適宜御参照ください。

資料の不足等がございましたら、事務局までお申し出いただければと思います。

す。

〇〇〇 ありがとうございます。

続きまして、事務局から「食品安全委員会における調査審議方法等について」に基づき必要となる専門委員の調査審議等への参加に関する事項について御報告ください。

〇事務局 それでは、本日の議事に関する専門委員等の調査審議等への参加に関する事項について報告します。

本日の議事について、専門委員の先生方から御提出いただいた確認書を確認したところ、調査審議等に参加しないこととなる事由に該当する専門委員はいらっしゃいません。

〇〇〇 先生方、提出いただいた確認書に相違はございませんでしょうか。

よろしいですね。

それでは、議事1に移らせていただきます。

「2019年度食品安全委員会運営計画について」です。

事務局より説明をお願いいたします。

〇事務局 それでは、説明させていただきます。

本年度最初ということで、恒例でこの運営計画を御紹介させていただくということです。

関連する部分だけ触れさせていただきます。

2ページをご覧くださいと思います。重点事項を挙げておりまして、その中でも、①cをご覧くださいとありますけれども、ベンチマークドーズ法については、化学物質の毒性評価に資するよう、海外の評価機関等の動向を踏まえつつ、食品健康影響評価技術研究の成果等をもとに集積された科学的知見を組み込むことによりガイドラインの作成を進める。また*in silico*評価手法を推進するために知見の蓄積を行う旨を記載しております。この後の御審議も含めてよろしくお願ひしたいと思います。

3ページをご覧くださいますと、「第2 委員会の運営全般」の「(3) 食品健康影響評価に関する専門調査会の開催」でございまして、本ワーキンググループを含みます専門調査会の開催ということで記載しております。

4ページをお願いしたいと思います。さらに「第3 食品健康影響評価の実施」の「2 評価ガイドラインの策定等」をご覧くださいますと、案件ごとの整合性を確保して、調査審議の透明性の確保及び円滑化に資するため、必要に応じ、評価ガイドラインの策定等を進めるとしているところでございますけれども、その一番下の段落のところ、ベンチマークドーズ法について海外の評価機関等の動向を踏まえつつ、リスク評価への活用に関するガイドラインの策定を進める旨を記載しているということでございます。ワーキンググループの先生方におかれましては、この後の御審議を重ねてよろしくお願ひしたいと思っております。

5ページ、「第4 食品健康影響評価の結果に基づく施策の実施状況の監視」や「第5 食品の安全性の確保に関する研究・調査事業の推進」について記載させていただいているところであります。

その後、10ページにかけまして、7ページの「第6 リスクコミュニケーションの促進」、9ページには「第7 緊急の事態への対処」、10ページに行きま

すけれども、「第8 食品の安全性の確保に関する情報の収集、整理及び活用」を記載させていただいているところです。

最後に、10ページの「第9 国際協調の推進」も挙げております。最初のところでは「(1) 国際会議等への委員及び事務局の職員の派遣」で、現時点で予定されております国際会議等のスケジュールを紹介しているということです。

さらに、11ページ、最後の「(4) 海外への情報発信」で、評価書の英訳や英文ジャーナルについて、年4回程度発行し、国内外に広く情報発信をしていくことも記載しているということでございます。

先生方にも御協力や関係していただくこともあろうかと存じますので、どうかお願いいたします。

以上、幾つかお願いも含めまして、2019年度運営計画について紹介させていただいたところでございます。

〇〇〇 ありがとうございます。

ただいまの事務局からの説明につきまして、何か御質問や御意見等はございませんでしょうか。

私どものやっているベンチマークドーズ法につきましても随所に出てきますし、また、評価の方法論ですので、ワーキンググループではありますけれども、全ての専門調査会に影響があることであります。また、評価の根底となるフィロソフィーの問題も含んでおりますので、我々は引き締めて早期にガイドライン等が出せるように頑張りたいと思っております。よろしいでしょうか。

それでは、議事の2に移らせていただきます。

(食品健康影響評価技術研究の平成30年度研究結果を発表の上、質疑応答及び意見交換を行った後、同研究結果をもとに議事の3について審議)

〇〇〇 事務局、スケジュールのほうはよろしいでしょうか。

〇事務局 現時点では6月7日を開催予定日として、先生方の御予定をいただいておりますが、次回ワーキンググループにつきましては事務局での作業状況も踏まえまして、改めてお知らせいたします。

〇〇〇 それでは、きょうのところは研究班の成果を踏まえてモデルの選択を中心に考え方を共有するということになりました。

少し長めの時間でしたけれども、御審議ありがとうございます。

次回はまたよろしくお願いいたします。